

2024 進路・キャリア教育のさらなる深化へ（人権学習を通して）

- 1 2年生を対象に、キャリア教育（職場体験の趣旨に沿って、勤労観・職業観の育成並びに進路学習の一環として）として位置づける。

人権課題のひとつである「ホームレス」問題を学習するが、「ホームレス」問題だけを理解するのが目的ではなく、身近な「人権（社会）問題」に向き合う姿勢を培うことができる取り組みを、感受性がさらに豊かになる2年次に学習する。さらに進路＝生き方として捉えたときに、本取組は、日生中学校生徒の望ましい職業観や勤労観の育成、さらに社会問題へ関心を高めるために有意義であると考えられる。

- 2 取り組むにあたって

- 「ホームレス」と出会う子どもたち（ガイドブック）、『身近なことから世界と私を考える授業（明石書店）』等を利用する。
- 岡山のホームレス支援を進めている「きずな」さんとの連携・支援をいただきながら進めていく。私たち教職員も謙虚に生徒と一緒に「学ぶ」姿勢を持って取り組む。
- 数時間の学習で「ホームレス」問題の全てを理解することは難しい。そのことを認識した上で、これからも「社会や人に」関心を持ち続けていく「出会い」を紡いでいく。

- 3 大切にしたいこと

- ①路上生活者の生活と路上生活に至る原因について知り、無知からくる偏見と差別を減らす。
- ②「人」を人として、人の命を大切に出来る「生き方」（実践力）につながる一助とする。
- ③生徒一人ひとりが自分との関係を考える契機になる人権課題であると考ええる。今なお現代社会に強固な偏見・差別が存在し、若者による「ホームレス」襲撃事件が起きている状況を変えるための具体的な学習のひとつとする。
- ④望ましい労働観・勤労観につなげていく。
- ⑤差別、偏見は「つくられる」が、また「なくすことができる」
- ⑥「ホームレス」とはいつときの生活の状態である。人をさす言葉ではない。
- ⑦路上生活という事実とホームレスの人々を結びつけて判断する際に、社会における偏見があわさってしまうと、本人が望んだ、あるいは本人の責任だけで路上生活になったという自己責任論に基づく判断をしてしまうかもしれない。判断の際、照らしあわせるべき事実は、偏見でなく、今まさに家に住んでいるという自分の生活経験である。比較すればホームレスの人々は路上生活を望んでいないという事実を想定することは容易なはず。適切な参照ができれば、適切な判断力、正しい社会認識を育てることになる。（学習ガイドより抜粋）

4 取り組み（学習）のながれ（案）

- 事前 ○教職員で事前に DVD 視聴
○ワークシートや、授業展開（流れ）を検討

- 1時間目： ①「ホームレス」問題についてのワークシートを書かせる。（6分程度）

- | |
|---|
| 1 ホームレスの人に出会ったことがありますか？
2 なぜ「ホームレス」になると思いますか？
3 どうやって食べ物を得ていると思いますか？
4 生活をしていて大変なこと、嫌なことはなんですか？
5 もし会って話をするとしたら、どんなことばをかけますか？ |
|---|

*差別的な言動がでても同調しない。（とがめない）

→しかしきちんと把握して、

今後の授業展開の中で「正しく」返信していく。

- ②DVD本編（30分）視聴しながら

- ・ワークシートの内容を検証していく。
- ・「鈴木さんの生きてきた道」からとして人の生き方から視聴させる

- ③「本当に悪いヤツはいない」「うらまない」のはなぜか？考えさせる

□ 2 時間 （今年度は別アプローチ）

検討

◎ホームレスの人々がおかれている状況を知り、回復者の川口さんの人生と比較することで、支援や支援活動について関心を持つ

①公正な社会における「健康で文化的な最低限度の生活」に必要な「モノ」「コト」を考える。*社会権については未習（3年生での学習）

②DVDチャプター「野宿の人たちに出会う」 23：40～45：20（一部）視聴
[21分40秒]

③応用編「川口猛さんの生き方」から考える [16分]
・公正な社会における「健康で文化的な最低限度の生活」に必要な「モノ」「コト」を考えさせながら、川口さんがホームレスの人々と違う点と理由を考える。

④考えたことや、新たな疑問など書いてまとめる

□ 帰りの会など

・「きずな」パンフレットで、岡山での紹介

□ 3 時間目

11/1

・ゲストティーチャー：NPO 岡山きずなさんをお招きして授業
・ファシリテーション：*ファシリテーション手法については事前に打ち合わせる
・質問討議促進：2年団

①「きずな」さんの紹介

②「きずな」さんから報告 ・岡山のようす （10分～13分程度）
・取り組み、活動の紹介

③報告を受けてグループで質問を考える→（ホワイトボード等で掲示）

④きずなさんに、でてきた質問に取捨選択していただき、応えていただく

⑤きずなさんからメッセージ（ラスト2分））

*打ち合わせが必要

・実際のホームレスの人への対応は「きずな」が考えている事でよいのか疑問

・一般的な事象でなく、「ひと」がみえる活動や生きざまを紹介してほしいと願う

*内容はメールを参照

⑥お礼（代表生徒感想））

□どこかで ①考えたことや感想をふりかえり ➡まとめる（ワークシート）

□オプション 冬季休業中に炊き出しボランティアの参加（希望者有志あればうれしいね）
（福祉やボラ、社会問題等の進路に関心のある生徒）

・「ひとのあいだ」で案内、紹介する予定です

□オプション 冬季休業中に『親のしごと』についての聞き取り

・中学校、高校の夢 *全ての方が自分の希望の職に就いているわけではない
・家族のため、子どものため働くことが大事

・仕事の苦勞、誇り、願い 思い

・仕事について、中学生にメッセージ

クラス報告会

